（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	サンクスラボ・アフタースクール大村

公表日　令和８年　５月　１日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援要等のスペースとの関係で適切であるか。	○		指定基準を遵守し、利用定員に応じたスペースを確保しています。	今後も活動内容によって部屋を分けたり、グループ分けをして活動を行うなどして、施設内での密度を減らす方法を考えていきたいと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個別サポートや家族支援ができるよう人数を配置しております。	指定基準を遵守し、適切に配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事業所のメインの活動スペースは平面にしており、動きやすい環境づくりに努めております。	児童数増加に伴いスクジュールボードの数が増えたので、個別スケジュールの置りの掲示物を減らすなどの工夫をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こだち達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動内容によって部屋を使い分けています。	今後も、安心して心地よく過ごせる環境づくりに努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて静養室や、和室を使用してもらっています。	お子様の体調や状況に応じて今後も個別スペースの活用を行っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に研修やケース会議を行っております。	今後も継続して実施していまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表を活用し、ご指摘いただいた事項については日々改善案を検討しております。	今後も保護者様向けのアンケートを定期的に実施し、業務改善につなげてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度の評価表の際や、その他必要な際に行っております。	今後も定期的に実施し、業務改善につなげてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	本社による社内評価を実施しております。	第三者による外部評価は行っておりませんので、今後の検討課題とさせていただきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内研修を定期的に行っております。また、社外研修への参加も積極的にしています。	社内研修の質向上に努め、職員の専門性を高める取り組みを継続して行います。
適切な支援の提供	11	通所に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		サービス計画に沿ってプログラムを作成しています。	今後も定期的な見直し、評価を行い公表していまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントを行ったうえで、必要な支援を分析し、支援計画を作成しています。	今後も面談等で課題の再確認を行っていく予定です。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ケース会議を行い、職員全体の意見をまとめて作成しています。	今後も継続し、統一した支援が出来るよう努めてまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全職員にサービス計画書を共有し、支援プログラムに反映しています。	個別スケジュールのPDCA サイクルを回しているかも含め、振返面談・変更していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		必要のあるお子様に関しましては、医療機関や専門機関による評価シートを共有いただき、支援に活用しています。	今後も必要に応じて行います。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの【放課後等デイサービスの提供すべき支援】の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び【地域支援・地域連携】のならい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのabove、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿ってサービス計画を作成しています。	今後も実施していくと共に、サンクスラボアフタースクール他拠点での良い取り組み等も参考にし、より豊富な支援内容を準備してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		支援について、スタッフ間で相談しやすい環境になっています。	以前は、一部で行っていた面もあった為、全体で同意していく予定です。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		サービス計画に沿ってプログラムを作成しています。	まだまだ工夫が必要ですので、今後も継続して検討していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		毎回プログラムの中で、個別活動と集団活動を組み合わせて支援を行っています。	個別活動では、計画に沿えていない箇所もあるため、継続して検討していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時に全体で打ち合わせを行っています。	細かい支援内容や役割分担は個別に伝えることもあります。今後も連携を強め、統一した支援が提供できるよう努力してまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎の都合上支援終了後にはできていませんが、翌朝に前日の児童の振り返りを行っています。	今後も継続して実施いたします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は毎日行っています。必要に応じて個礼シートにそれぞれ記入しています。	今後も継続して実施いたします。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		少なくとも半年に１度、さらに必要に応じて行っています。	今後も継続して実施いたします。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		サービス計画に沿ってプログラムを作成しております。	少し偏りがある日もある為、継続して検討していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		お子様の意思を尊重して支援を行っております。	自己決定についてはまだ少し弱い為、今後児童主体の会議の場などを検討しています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や個別移行支援の会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達管理責任者に加え、一人職員が同席しています。	今後も継続して実施いたします。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて行っています。	今後さらに増やしていく予定です。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の計画や行事予定に関する共有を行っております。また、必要に応じてお子様の状況に関する会議を開催しています。	今後も継続して実施いたします。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		情報共有、および資料がある場合は、資料を基にした引継ぎを行っております。	今後も継続して情報共有を行います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等、連携しているか。	○			該当する児童がいませんでしたが、今後必要に応じて行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて、専門職員との情報共有や研修を実施しております。	当事業所における課題等を児童発達支援センター等に相談するなどの連携を検討いたします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の色のこどもと活動する機会があるか。		○		色事業所との交流はありましたが、地域の児童との交流はありませんでしたので、今後検討してまいります。
	33	（協立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		必要に応じて代表者が参加しております。	今後も機会があれば積極的に参加してまいります。
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎の際に、その日の出来事や近状をお聞きするようにしています。	情報共有機体を工夫しながら、日々の状況をより詳しく共通理解できるよう検討いたします。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	現在保護者様からのご相談があれば、相談支援を行っている状況です。	相談支援は行っていますが、ペアレントトレーニングに関する取り組みは少ない状況ですので、今後実施を検討しております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っています。	今後も継続して実施いたします。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時やご見学時にお伺いしています。	今後も継続して実施いたします。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援開始前に必ず計画書の同意を得ています。	今後も継続して実施いたします。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があった場合、都度ご自宅へ伺い相談に応じています。	今後も、相談してもらいやすい環境の設定に努めてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい児も一緒に交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		親子参加のBBQなどを企画し、実施しております。	保護者同士の交流の機会が少ないので、今後増やしていく予定です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		いただきましたご意見に関しまして、全職員参加のミーティング実施や、本部との連携等を行い、対応させていただいております。	今後も継続して実施いたします。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		年に６回、事業所の新聞を発行しています。また、定期的にInstagramの投稿も行っております。	今後も継続して実施いたします。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類などは鍵付きのキャビネットに保管しており、写真等も保護者様のご意向を伺ったうえで取り扱いしております。	今後も継続して実施いたします。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様の発達状況に応じた意思疎通の為の配慮を行っています。	今後も継続して実施いたします。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		相談支援事業所や他事業所を招待したイベントを計画し、実施しております。	機会が少ないので、今後増やしていく予定です。
非常時等の対応	46	感染防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し職員に周知、訓練を行っています。	保護者様への周知までには至っていませんので、今後周知の仕方を検討いたします。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定しています。定期的に避難訓練を実施しています。	今後も継続して実施いたします。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時にお聞きしたり、アセスメントシートに記入いただき確認しています。	今後も継続して実施いたします。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーのあるお子様については、保護者様と相談のうえ対応しています。	引き続きアレルギーがあるお子様に関しましては、医師と連携し対応できる体制づくりを検討いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画を立て、各種研修や訓練を行っております。	今後も継続して実施いたします。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		訓練などの取り組み内容を保護者様にお伝えしております。	周知が行き届いていない面があるため、今後保護者様との連携をさらに強めて参りたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが起きた際、報告書を作成し、保管しております。	全職員にヒヤリハットの周知を行い、事故等に繋がらないように定期的なミーティングを実施します。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修会とともに、報告書の作成まで行っております。	虐待防止委員会を設置するとともに、全職員への周知を図ってまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明して解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に保護者様に説明し、同意を得ています。	継続して実施いたします。